



2009年夏

経営研究学科  
キャリアプランニングコース  
アスカ王国ふれあいの旅  
ボランティア研修レポート

今夏も「アスカ王国 母と子ふれあいの旅」が8月3日～6日の日程で長野県白樺湖で開催され、本校からは経営研究学科の1年生4名、2年生5名が、ボランティア・リーダーとして参加しました。

「アスカ王国」は、1982年に始まりました。初代女王陛下はユニセフ日本国委員会を創設された橋本正先生(故橋本龍太郎元総理のご母堂様)です。「アスカ王国 ふれあいの旅」では、障害のあるなしに係わらず、異年齢のさまざまな仲間と寝食を共にする体験を通して得た感動を糧にして“生きる力”を育みます。お互いの生きる命の尊さを大切に守り合い、支え合い、それを生かし合うグループワークを通して新しい自分と出会い、自己実現を図ります。障害者も「感性や創造力」を養いながら自立心を育てます。

学生たちの活躍を見るために、学校から教職員2名も「アスカ祭り」に駆けつけました。予想通り9名の学生たちは、参加者みんなとひとつに溶け込み、キラキラとそれぞれの光を放ち、自分の居場所や役割は、人との関係性の中でこそ形成されるものだと実感させられました。「アスカの種」は学生たちの心に確実に蒔かれていました。